

全国から多くの医師が被災地に向かっています。

平成 23 年 3 月 11 日、東北地方太平洋沖において発生した大地震、大津波、そしてそれに伴う原発事故による未曾有の大災害で被害をこうむられた皆様に心からお見舞いを申し上げます。日本医師会は、一刻も早く医療を被災地にとどけることで、被災された皆様への支援活動を行っています。全国から多くの医師が参加し、日本医師会災害医療チーム(JMAT)をつくりました。現在、被災地の避難所や救護所などを巡回し、住民の皆さんの診療にあたっています。これからは精神的なケアも含めた手厚い医療体制が必要です。すでに200を超える医療チームが活動していますが、4月以降さらに多くのチームが現地に入ります。私たちは医師として、ひとりでも多くの命を守るために全力で取り組んでいきます。



「JMATトリアージカード」

全国の医師がひとつになって 日本医師会災害医療チーム<JMATA>が被災地へ

全国から集まった医師、薬剤師、看護職員、サポートスタッフなどによる災害医療チームが、被災地の医療現場で、「JMATAトリアージカード」を活用した巡回診療を行い、特に慢性疾患のある患者さんへの診察に役立っています。